

優
良
賞

未来へつなぐ

鹿沼市立中央小学校六年

武井 洸樹

最近、大量の大雨による床上浸水や川の増水、大規模な火災など大きな被害が出ています。

なぜ災害が起きて多くの犠牲者が出てしまうのでしょうか。災害が起こる最大の原因は何なのでしょう。僕は考えてみました。

災害で多くの人々が犠牲になる最大の原因は、私達自身にあると考えられます。例えば森林伐採です。人間は、土地や木が欲しく山を削って自ら森林を減らしてしまっているのです。このことが進んでしまうと森林破壊につながってしまいます。このようになると、二酸化炭素が多くなり地球温暖化になる危険性が増えて、私達の生活にも大きなダメージをあたえてしまうのです。これ以上森林破壊が進んでしまうと命に関わる重大な出来事に進展していきます。それは、土砂崩れや干ばつ、異常気象などの自然災害が増えたり、呼吸困難に陥ってしまったりするのです。そのためこの地球に人間を含む動物たちがやがて生きられなくなってしまうのです。

もし、この世界に森林がなくなってしまうと生き物の生態系はどのようになるか考えてみました。僕は、生き物の数が減って食物連鎖の関係がくずれず、少しずつ生態系が変化していくのではないかと考えました。また、陸地ではなく海上でも、大雨による土砂崩れなどでサンゴが汚れたり、生き物が住む場所が失なわれたりして環境が悪くなり、魚の数も減少していくのではないかと思います。僕は、今考えたことと現在知っている知識をもとに、森林がたくさんあったら土砂崩れや火災などの被害が少なくなると考えられます。

澄んでいる空気や豊かな森林、おいしい水が作られるには、一人一人の努力が必要です。例えば、日本各地で行われる森林を守るプロジェクトに参加するなどのことが大切だと思います。しかし、忙しくて参加できない人がたくさんいると思います。このような人には身近なことから始めていくのも大切です。マイバックを持参することや、電気をこまめに消すなどの工夫や、このようなことをすれば自然に優しいの力を考えるのも対策の一つです。

森林の姿が消えることで一番困るのは、私達自身だと思います。人間を含む動物たちが生きていられるのは、森林があるからです。自分たちが良ければいいという考えを捨てて周りの人や未来のことを考えて行動しましょう。そして、「豊かな森林が残る地球を未来へつなげていく」ということを胸に、毎日コツコツ小さな取り組みをして、貴重な森林を守っていきましょう。

